

ユニバーサルデザインってなに？

すべての人が使いやすいデザイン

「ユニバーサルデザイン」の「ユニバーサル」には、「すべての人の」「普遍的な」という意味があります。つまり、「すべての人が使いやすいデザイン」というわけです。では、「すべての人」とは、どんな人でしょうか？

世の中には、年齢や性別、国籍などのちがう、さまざまな人がいます。ほかにも、体や心になんらかの障がいのある人、生きづらさを感じている人などもあります。そ

のようなすべての人の生活にできるだけ支障が出ないように、環境を整えるのが、ユニバーサルデザインの考え方です。

ユニバーサルデザインというと、建物や施設などの工夫をイメージしがちですが、みなさんの身近にある文房具や服、家電製品など、あらゆる「もの」にもさまざまな工夫がほどこされています。この本では、そんな「もの」のユニバーサルデザインを紹介します。



この本では、子どもたちが身近にある、さまざまな「ユニバーサルデザイン」を探して、どういう工夫がほどこされているかを調べます。

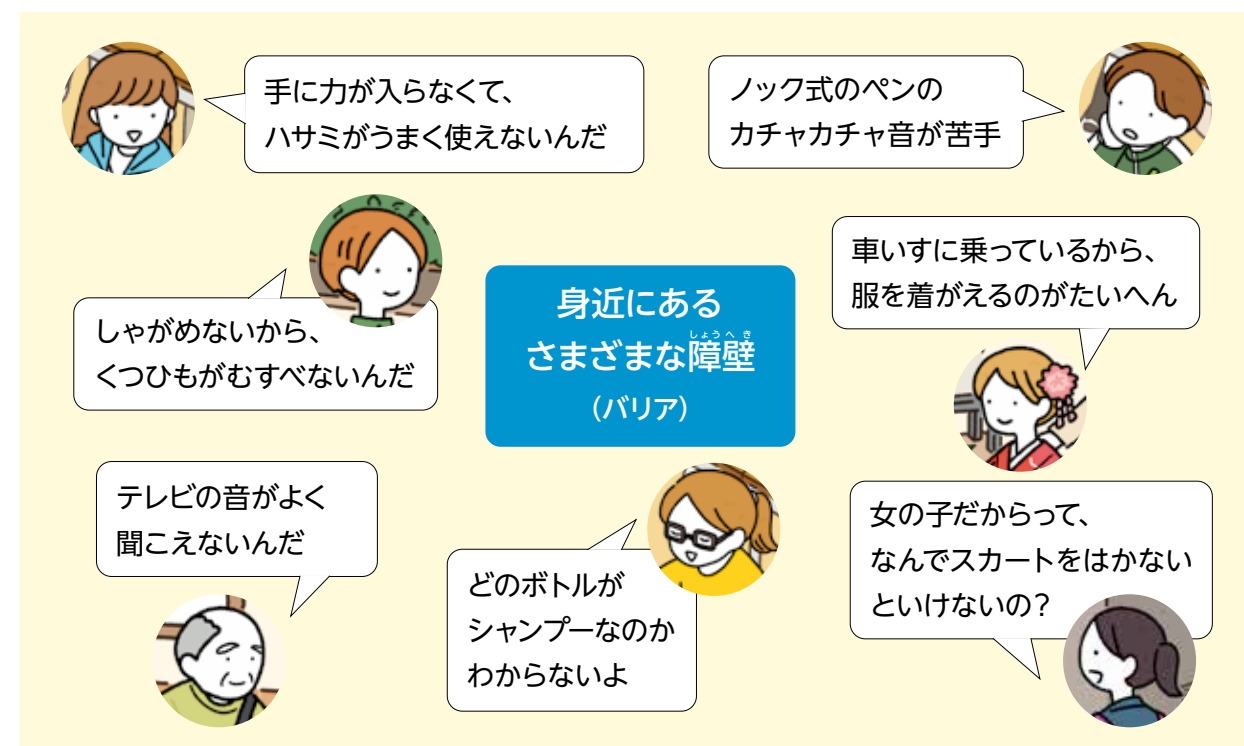
では、「ユニバーサルデザイン」って、なにか知っていますか？

いろいろなバリアを見つけてみよう

ユニバーサルデザインと意味の近い言葉に「バリアフリー」があります。「バリア」は「障壁」という意味で、「フリー」は言葉のあとにつくと、それが無いことをあらわす言葉です。つまり、「障壁がない」という意味になり、障がいのある人やお年よりなどが暮らしやすいように配慮された設備やものをさします。

一方、ユニバーサルデザインは、障がいの有無や年齢などによる身体的な障壁だけでなく、すべての人に障壁がないことをめざすものです。

みなさんもまわりの人などに、「困っていること」を聞いてみましょう。きっと、さまざまな障壁（バリア）に気づくはずです。



→ほかにたくさんあります。みんなで探してみましょう。

みんなが使いやすい！

ハサミ・カッターナイフ のいろいろ

だれでも使えるハサミ

力が弱い人や手先を使う作業が苦手な人にとって、切るときより切ったあとにハサミを開く動きのほうがむずかしいといわれています。このハサミは、かるく押せば切れて、もち手のバネで自然に開くので、ほとんど力を入れなくても使えます。

丸くてかるく、
小さな力でも押せる

カバーについた切れめで
紙が引っかからない

カスタ
Casta (長谷川刃物)

カバーがあるので
指先が入りにくくて安全

押すとカチカチと
カスタネットみたいな
音が鳴るんだよ！

もって使うだけでなく、つくえに置いて、もち手を押すだけで切れるのが特徴です。指や手、腕、足などで、押す動きができる人なら、かんたんに使えます。

また、刃の部分にはカバーがついているので、刃が手に直接当たらず、ケガをしにくくなっています。



開発した会社の人に聞いてみよう！

長谷川刃物株式会社 代表取締役

長谷川 尚彦 さん



Q
開発しようとした
きっかけはなんで
すか？

手の力が弱くて、ハサミを使うのにとても苦労している人と知り合ったことです。握力がほとんどない人や腕のない人もたくさんいます。そういう人でも安全に、安心して使えるハサミを作りたいと思ったことがきっかけです。

Q
一番むずかしかった
ところはどこで
すか？

もち手の部分です。手になじみやすく、にぎりやすい形、置いても安定する形にする必要がありました。たくさんの人にハサミを使ってもらい、一番手になじみやすいサイズと形を見つけるのがとてもたいへんでした。また、カスタネットのような音がなかなか出せず、いろいろな形で試し、もち手を空洞にすることでようやく表現できました。

ふつうのハサミで
切るときの
半分かくらいの力で
切れるんだって！

